

令和7年4月9日

令和7年度第1回理事会議事録

日 時：令和7年4月9日（水） 18時30分～19時30分

会 場：オンライン会議（Zoom 使用）

出席者：中川理事長、射場副理事長、井阪副理事長、本田理事、中野理事、工藤理事、鈴木理事、都留理事、實光理事、千葉監事、安積局長、田箒局長、
総務部・藤原
欠席者：早瀬局長、辻岡局長
書 記：藤原

令和7年度第1回理事会議題

（1）承認事項

- ア 令和6年度第12回理事会議事録
資料参照のうえ、承認された。

（2）報告事項

ア 各局事業進捗報告

本田理事（事務局）より、資料に基づいて報告があった。総務部は公文書発行46件、事業報告の取りまとめ、財務部は来年度予算案の共有、謝金の財務処理方法の検討、年度末に向けた各部の財務管理を行った。また、本田理事より賛助会員についての報告があり、現在1件の企業からの申し込みを受けて付けており、センターより依頼文をもう一度送る予定とのこと。

安積局長（情報管理局）より、資料に基づいて報告があった。SM部はセンターHP管理運営、研修会・学会の広報、センター主催研修会・「おおさかPT学びの道しるべ」の広報を実施。ニュース編集部は府士会ニュース309号の取りまとめ、おおさかPT学びの道しるべ3月号の発行、4月センター主催研修会情報のプッシュ通知、おおさかPT学びの道しるべの編集等発行に向けた準備を行った。SE部は大阪学会のサポート、臨床認定カリキュラムHPサポートを行った。

田箒局長（生涯学習局）より、資料に基づいて報告があった。研修事業はセンター主催研修会の3月開催分について、市区町村士会からの各種申請及び問い合わせの対応、2025年度開催主催研修会準備、令和6年度財務処理を行った。3士会合同研修会事業は令和6年度の財務処理を行った。研修集会事業はWEB・対面セミナーともに研修会の申請書を作成し、府士会事務局へ提出、登録・認定および専門理学療法士のポイント承認後に広報が開始できるように準備、公文書発行の準備、宿泊が必要な講師の宿泊先候補の選定を行った。理学療法士講習会事業は2025年度下半期の講習会募集を開始した。認定カリキュラム事業は運動器・循環器の開催準備として、講師への公文書および講義依頼詳細の発行・HP開設（近日公開予定）・参加申し込みフォーム開設、STORES開設・ZOOM準備を行った。学術誌編集部は「総合理学療法学」について論文査読・審査・修正中7件、早期公開準備4件を行った。生涯学習センター主催の研修会についても報告があった。臨床認定カリキュラムはHPが共有され、5月から申し込みを開始予定。府士会員が優先的され、その後全国協会員に向けて案内が行われる予定。ナイトセミナーに関して、上半期研修会は順次申し込み受付を開始。スキルアップセミナーは4支部に分けて6・7月に4回企画しており、新入会員は無料で新人ガイダンス時に案内予定。研修集会はHP記載ではなく会員マイページからの申し込みで進めていく予定。射場副理事長よりスキルアップセミナーに理事の出席が必要か問われたが、出席の必要はないことが確認された。

都留理事(教育局)より資料に基づいて報告があった。学術大会部は第 37 回大会についてロードマップに則り各部の業務進行。演題募集期間を延長(資料上 3/23 までに 113 件応募、最終 3/31 までに 148 件の応募)を行った。臨床実習教育部は 2025 年度講習会準備(日程・講師)、2025-2026 年度 WG メンバーの選定、取り組みに関する会員への広報(4 月末ニュース)、認定臨床教育者講習会の準備・広報を行った。研修理学療法教育部は、次年度事業日程確定、2025 年度講師バンク登録公募(5 月 20 日へ延長調整)、前期研修講師確定、新人症例発表会マニュアルの改訂について行った。

講師バンクで講師を務めていただいた先生方の生涯学習部主催研修への講師推薦等、具体的にどのような形を取っていくのかを鈴木理事と検討を開始していることが共有された。中川理事長より講師バンク開設の経緯が説明され、留意しながら検討を進めていく。オスキーについても、まずはセンター独自のものを大阪で導入していき、引き続き指導機関や教員とも意見交換を行い、理解を得ていく方向となった。

イ 学術大会部の部長代行について

都留理事(教育局担当)より、現副部長の佐竹氏が部長代行を務めることが報告された。今後、査読に関する連絡時には、都留理事と佐竹氏の両者を含めるように周知された。

(3) 審議事項

ア 理事候補者の推薦について

本田理事より、資料の通り報告があった。事務局を通じて辻畑智広部長に理事候補者の推薦を打診したところ、本人の承諾を得たので、正式に当センターの理事候補者として辻畑智弘先生を推薦することについて審議された。特に異論なく、全員の賛成が得られ、本議案は承認された。

イ 第 66 回近畿理学療法学術大会大会長公募結果について

本田理事より、資料の通り報告があった。第 66 回近畿理学療法学術大会大会長公募受付が 3 月 28 日で終了し、センター現理事である鈴木俊明氏のみの立候補となったため、次回府士会との合同会議にて議題として提出予定。特に異論なく、全員の賛成が得られ、本議案は承認された。

ウ 呼吸療法認定士の更新及び受験に伴うポイントについて

本田理事より、資料の通り報告があった。3 学会合同呼吸療法認定士のポイント申請をする講習会(呼吸器疾患研修会)について、認定理学療法士などの制度も出来ていることやポイント申請には e-learning 等でも可能なことを踏まえ、センターでは呼吸器疾患研修会について継続しない方針とされた。特に異論なく、全員の賛成が得られ、本議案は承認された。

4 その他

・ 5 月 25 日(日) 新人ガイダンスについて

都留理事より、午後の会場利用について質問があり、井阪副理事長より「午後は会場のみ空いており使用予定はない」と回答があった。

・ 会員名簿の配信について

前年度で配信を終了する方針がセンターで承認されたが、今後の会員情報取得の方法については次回の合同理事会で検討することとなった。

・ 第 66 回近畿学会についての会場予約について

次回合同理事会で大会長の審議を図るとともに会場の仮予約を行ったことも併せて報告する方針となった。

・ 公募用のメールアドレスについて

事務局のメールアドレスを使用しているが、理事にまでメールが届いてしまうという問題点が挙げられた。対応策として、大阪学会・近畿学会共有で公募用アドレスを新たに作成し、今後使用することで合意された。

以上